

最近のコース改修・改良について

1. 練習グリーン前の生垣移植

練習グリーン入り口付近の芝の擦り切れ防止及び芝の痛みの分散化を図るため、ツツジの生垣を移植し入り口を拡張しました。広々とし、すっきりした印象となりました。ツツジはコース内やクラブハウス周りに移植しました。



①実施前



②実施後

2. 樹木の枝落とし・間伐工事



①枝落とし・間伐作業



②Bグリーン日照確保



③2階レストランからNo.18の眺望



④No.18セカンド付近からの眺望

① No.18グリーン周りヒマラヤスギ枝落とし・間伐

冬のBグリーンは1日中 日が当たらず凍結状態で使用不可となっておりますが、枝落とし・間伐によって日照が確保され、冬でも使用可能となりました。また、通風性が向上し藻や、芝苔の発生が抑制されます。2階レストランおよびNo.18ホールからの眺望も向上しました。

② インコース練習グリーン周り樹木伐採

これまで樹木に遮られ日照不足による芝枯れが発生していたインコース練習グリーンですが、周囲の木を伐採したことにより、日の出とともに日が当たるようになりました。遠くの山も見えるようになり景観も格段に向上しました。



3. No.4・No.11バンカー付近整備工事

以前はNo.4、No.11共にバンカー付近にある檜の巨木の根がバンカー内に侵入していたこと、及び日陰になっていたことにより、バンカー付近の芝付きも悪く裸地化しておりました。この巨木を伐採したことにより芝の活着の改善が図れます。又、No.4については



①No.4



②No.11

カート道路を伝って雨水がバンカー内に溜まり、これによりバンカーの砂が流出する事象が発生していたのでカート道路に縁石を設置しました。

No.11についてはバンカー付近の土を削り、バンカー手前を雨水が流れるよう改良いたしました。どちらもバンカー付近の芝貼りは完了し、今後芝がしっかりと根付いてから砂を入れる予定です。